

## 課題情報シート

課題名：	茶室における腰掛待合の製作		
施設名：	職業能力開発総合大学校東京校		
課程名：	専門課程	訓練科名：	インテリア科
課題の区分：	総合制作実習課題	課題の形態：	製作

### 課題の制作・開発目的

**(1) 課題実習の前提となる科目または知識、技能・技術**

安全衛生、建築計画、建築施工、建築設計製図、建築施工、インテリア施工、建築測量

**(2) 課題に取り組む推奨段階**

設計実習および施工実習の終了後

**(3) 課題によって養成する知識、技能・技術**

課題を通して、主に建築の設計及び施工技術の実践力を身につける。

**(4) 課題実習の時間と人数**

人数：3名

時間：288時間

東京校3号館の西側に、平成18年度の建築科の総合制作実習において、三畳台目の茶室の軸組みが作られました。これを受けて今年度は、その造作工事を行い、茶室を完成させるとともに、茶室脇に、腰掛待合を施工し、茶庭としての茶室を完成させることを目指しました。さらに、これまでに学んだ知識と技能を生かして、腰掛待合の設計から、基礎、骨組み材の加工、建て方、小屋組み、屋根葺き、腰掛け部の加工および左官工事まで行うことで、小さいながらも一つの建物を完成させることを目的としました。

### 課題の成果概要

**完成した茶室待合の概要**

桁行き：2.87m、梁行き：1.1m、棟の高さ 2.3m、座面高：430mm、座面の奥行き：420mm、

**使用した材料**

柱：磨き丸太 φ90、屋根仕上げ：杉皮葺き、座面枠：ヒノキ（50×90）、座面：ヒノキ縁甲板

壁：ラスモルタル下地、仕上げには、セラミックシリコン樹脂系のベルアートを使用し、骨材として5厘の白竜砕石を入れコテ仕上げとした。



れも建築施工に関する基本的な技能・技術が身につけているからこそ経験しえたことで、施工実習をはじめとする1年次の基礎実技教育がいかに大切かを、改めて認識させられました。

また、この課題は基本的にグループ作業でしたので、相手に自分の意識を伝える、議論をする、そして役割分担をしながら共同作業をすることの重要性を直に感じたと思いますので、建築の施工管理者になるであろう3人にとっては、大変良い経験ができたのではないかと考えます。

養成する能力 (知識、技能・技術)	課題制作・開発のポイント	訓練(指導)ポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設計図書および施工図を作成する能力</li> <li>○ 軸組み材を加工しそれを建て込む能力</li> <li>○ 各種の仕上げを行う能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 茶庭における待合の役割の調査</li> <li>◇ 施工図の作成</li> <li>◇ 丸太材の加工</li> <li>◇ 既に習得した左官作業の復習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 伏図、矩計図、軸組図のチェック</li> <li>● 材料表のチェック</li> <li>● 丸太材の墨付けと加工法</li> <li>● 左官材料の選定</li> <li>● 左官作業法</li> </ul>

#### 課題に関する問い合わせ先

**施設名** : 職業能力開発総合大学校東京校  
**住所** : 〒187-0035  
 東京都小平市小川西町 2-32-1  
**電話番号** : 042-341-3331  
**施設 Web アドレス** : <http://www.tokyo-pc.ac.jp>